

「空き家になるその前に『活き家』登録推進事業」 株式会社こたつ生活介護

【背景】

居住支援事業を通じ、高齢者の施設入居支援を行う中、持ち家で独居の場合では、空き家となる可能性が高い。

施設入居相談の段階で本人や家族の方に意向を確認し、自宅の今後について検討を行い、入居の為の資金計画と合わせて自宅の利活用の提案も行ってきた。

空き家になる前に、売却の支援、地域コミュニティの場・シェアハウス等の活用及び解体後駐車場として賃貸する等の支援を行っている。

【目的】

地域包括ケアシステムや居住支援活動にてつながる高齢者の家において、そこに「住もう人」を見守り「建物」を未来へ活かすプランニングを通して、「空き家」の発生を抑制する仕組みを確立する



写真：マッチング

写真：ホーム
インスペクション

写真：活用会議

【取り組み内容】

〈相談窓口設置〉

東京都立川市一番町6-29-8 電話番号：0800-800-6198

(入電件数：物件活用希望10件、物件提供3件、協力希望者1件、取材等3件)

〈周知・広報〉

既連携：高齢者の相談を受ける各窓口 新連携：創業支援機関

パンフレット設置依頼と、職員様へのご説明

〈Webサイト・SNS制作〉 <https://www.kotatsu.co.jp/ikiya>

↓ 画像：HP



↓ 画像：Facebook



写真：パンフレット
設置の様子

〈メディア取材〉

- ・高齢者住宅新聞（11/11号 1面トップ）
- ・J-COM 『つながるニュース』 12/7放映済

【成果】

〈『活き家』登録〉

所有する建物を空き家にしないと宣言し、ご家族への継承準備や活用希望者とのマッチング候補としてストック

登録件数 11件 区分所有建物（売却済）1件
ご家族継承待ち 2件
マッチング待ち 4件
マッチング中 2件
その他 2件（最期まで住み、その後は検討・清掃後に検討）

写真：登録書
（宣言書）



〈活用事例情報紙作成〉 2回 → 見守り・状況の変化の確認

〈ホームインスペクション実施〉 11件

〈物件見学ツアー・活用会議〉

コロナウィルス感染防止の為、ツアーを個別見学会に変更し2回実施。

活用会議を2回実施。

（集まることが難しく、メールや電話でのやり取り中心）

写真：活用会議



画像：情報紙



【課題】

○活用希望者の活用計画作成サポート

○活用希望者と物件所有者の世代が異なり、伝え方を工夫

○高齢者の相談窓口では不動産のことがわからず、相談を受け流してしまうケースあり

【その後の展開】

○追加で3件マッチング実施中

- ・武蔵村山市…地域の繋がりから、自宅兼店舗の活用相談
- ・あきる野市…連携不動産店より、高齢者所有の空き家の活用相談
- ・立川市…立川社協より、高齢者所有の物件活用相談

○行政・社協・地域包括支援センター・金融機関等、高齢者の相談窓口の職員様向けセミナー実施（会場：立川社協、助産院こもれび家、アキシマエンス）

○TOKYO創業ステーションTAMA・立川社協と連携し、空き家抑制・活用セミナー定期開催（2021年6月、7月開催済み。次回10月。）

○たましん・国分寺市と連携し、11/13（土）物件所有者様向けセミナー登壇予定

○日野市都市計画課・日野社協と連携し、空き家等の地域課題に共に取り組む方向で8月にミーティング（「まちと空き家の学校」等の取り組み）